



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年5月11日
文責 八木幸夫

こんな学校づくりに努力します

今週から学校での教育活動を段階的に進めていきます。今週は各学年3回の登校日を設けて、学校生活のオリエンテーションや身体測定、標準学力テスト等を実施します。学校生活についても3密の回避、手洗いの励行、咳エチケット等、生活様式の変更が求められています。学校生活のルールの確認や身体状況の確認、休業中の学習を含めた学力の実態を確認して、新たな学校生活のスタートに備えます。

今年度は新型コロナウイルス感染予防のために、臨時休校が続く変則的なスタートとなりましたが今年度の学校運営の目標及び重点等について、4月30日の学校運営協議会で承認をいただきました。学校教育目標の具現化に向けて、変化する社会環境に合わせて柔軟に学校運営を進めて参ります。

令和2年度

小国町立小国中学校教育目標・重点等

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い変化する状況に応じた学校運営が求められています。関係機関の指導の下、保護者、生徒の理解を得ながら、職員の共通理解と協力により柔軟な対応による学校運営を推進します。

■ 1 教育目標

白い森の国おぐにを愛し、たくましく、心豊かで、生き抜く力を身につけた小国人の育成

■ 2 めざす学校像

あいさつ・合唱・ボランティアで感動をよぶ学校 小国中学校

- 1 明るいあいさつと歌声が響く学校
- 2 思いやりの行き交ういじめのない学校
- 3 安全で安心のあるきれいな学校
- 4 家庭・地域から信頼される開かれた学校

■ 3 めざす生徒像

人間力を身につけ小国を元気にする小国中生

- 1 確かな学力を身につけ、自ら課題解決にあたる生徒
- 2 豊かな心を持ち、互いを認め合って成長する生徒
- 3 心身ともに健康で、根気強く、たくましい生徒
- 4 郷土を愛し、郷土を元気にしようと努力する生徒



■ 4 経営の重点

教育活動全体を通して、「自ら取り組む」「挑戦する」「共感的に聞き、発信する」ことの意義づけ、価値づけを行い、自発性、自主性を発揮する場、コミュニケーション力育成の場づくりを工夫します。

加えて次の視点を持って活動を企画運営し、連携・協働の学校運営を推進します。

- 1 保護者、家庭との連携・情報共有
- 2 PTAとの連携、組織活用

3 地域との協働・情報公開

4 小学校、高校との交流、連携

5 関係機関との情報共有、連携

1 【**確かな学力を身につけ、自ら課題解決にあたる生徒生徒**】に向けた重点

- (1) 学校研究を中核にした教科指導の充実 (2) 学年・学級での学業指導
(3) キャリア教育の充実 (4) 読書活動の活性化

2 【**豊かな心を持ち、互いを認め合って成長する生徒**】に向けた重点

- (1) コミュニケーション力の育成
(2) 自治活動の活性化による相互支持的な集団作りの推進
(3) 道徳教育の充実
(4) 生徒理解の推進による不登校、不適応防止と特別な支援を要する生徒への適切な対応
(5) 学校いじめ防止基本方針に基づいたいじめ防止対策の推進

3 【**心身ともに健康で、根気強く、たくましい生徒**】に向けた重点

- (1) 安全な学校環境づくりと自らの命を守る教育の充実
(2) 望ましい生活習慣を身につけさせる取組の充実
(3) 健康教育の充実 (4) 体力テスト全国比較52.5以上を目標とした体力の向上

4 【**郷土を愛し、郷土を元気にしようと努力する生徒**】に向けた重点

- (1) 白い森学習の充実 (2) 生徒会主体のボランティア活動、交流活動の充実
(3) 校外で、家庭でのあいさつの向上 (4) 生徒の活動状況の積極的な発信

* 学校運営方針の細部については、本校ホームページに掲載いたしました。

マスクをいただきました

5月8日(木)、仁科洋一町長が本校を訪れ、新型コロナウイルス感染防止のためのマスクを授与してくださいました。生徒を代表して2年生の飯田晴基君が受け取りました。「学校の休みが続いて辛いところもあると思いますが、マスクでしっかり感染予防をして頑張ってください。」と力強く激励をさせていただきました。飯田君も激励を受けて「ありがとうございます。」と爽やかに返事をしてマスクを受け取りました。この度いただいたマスクは生徒、職員に対して小国町から2枚、町内の山和建设様から1

枚の合計3枚の布マスクです。本日配付しました。

仁科町長からは、「新型コロナウイルス感染防止に伴って、大変なご苦勞をおかけしています。子ども達の安全確保を第一に、また先生方自身も十分に感染予防に注意して子ども達の教育活動にあたってください。」と先生方にも力強い激励をいただきました。ありがとうございます。

本校では心身ともに健康で、元気に学校生活をおくって欲しいという願いから、欠席者のいない全校登校の日、年間20日以上を目標にかかげています。「小国中だより」にも欠席0の日の日数を記載し、意識化を図ってきたところです。これまでは、少々体調が不良でも、気力でカバーして登校し、学習に励む姿を頼もしく感じてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大を避けるためには、発熱、風邪のような症状が数日続く場合や強い倦怠感のある場合などは、無理をして登校することが感染拡大につながることになりかねません。体調不良を押しての登校は控える必要があります。「小国中だより」の欠席0の日の日数記載も控えることといたしました。